

科目名	通信法規			英文表記	Communication Law		H22年 6月15日
教員名：	杉本和英						修正
技術支援：							
対象学科	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
情報通信システム工学科	5年	必修	学修	1単位	講義	半期	
目 標	情報通信関連法規を独力で読破・理解し、通信関連資格の取得にチャレンジできるようになるための基礎学力を習得する。						
高 専 目 標	1	2	3	4	JABEE プログラム名称	情報通信システム工学	
	○		◎		JABEE プログラム教育目標	A-1,B-1,B-2,B-3,C-1,C-2,C-3	
授業概要、 方針、 履修上の注意	情報通信関連法規のうち「電波法」の内容を条文に従って理解する。 教科書の体系にしたがって進める。 演習問題のレポートによって、各ステップの理解度を確認する。						
評 価 方 法	定期試験の得点 80%、レポート 20%の割合で評価する。						
教科書・教材	「情報通信法規教本」（日本理工出版会）						
参 考 図 書	「法規突破読本」（電機通信協会）						
授 業 計 画							
授 業 項 目	時 間	授 業 内 容					
1. ガイダンス	1	授業の目標、概要、進め方を説明する。					
2. 概要	2	目的、電波法令、用語の定義、電波に関する条約					
3. 無線局の免許 (1)	2	無線局の開設、免許の申請・審査、予備免許					
4. 無線局の免許 (2)	2	簡易な免許手続き、免許に係わる諸事項					
5. 無線設備	2	用語の定義、電波の型式と質、電波に係わる諸事項					
6. 無線従事者	2	無線設備の操作、従事者の資格の種類と免許					
7. 運用	2	禁止、防止事項、無線局の運用、通信方法、業務書類					
8. 監督と罰則	2	命令、検査、免許の取消、報告、罰則					
期末試験	[2]						
9.							
10.							
11.							
12.							
13.							
14.							
15.							
学習時間合計	15	実時間		12.5			

学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など）

各授業項目に対して演習問題のレポートを課す（2回）。